

Handsome

輝

Handsome CONTENTS

巻頭記事 2月例会開催

36th

県経営研修会

特集 輝業紹介 | 輝賓室 須藤さとし 代表取締役 佐久間 信OB(第2期中心) | 拜啓、会員様 ~北口会長のひとひごと~

★発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 北口 智明 ★スローガン/輝かがやき ★テーマ/その先へ~Leap ahead~
★編集責任者/担当 副会長 岩田 剛 ★制作・編集 第36期総務委員会/委員長 竹ノ内 賢一郎 ★印刷所/東京印刷(株)

その先へ

Leap ahead

プロスポーツを通じての地域経済活性化 ~スサノオと ガイナーレの威力~

平成23年2月15日(火)、ホテルサンルート米子に於いて、スポーツ振興委員会担当の2月例会が開催された。



2部構成となっており、第1部は、「スサノオマジックの展望」をテーマに、スサノオマジックを運営している(株)山陰スポーツネットワーク取締役統括マネージャー宮下博行氏による講演があった。

第2部は「プロスポーツの活用とビジネスチャンス」をテーマに、第1部講師の宮下氏に加え、(株)山陰スポーツネットワーク代表取締役 赤池大介氏・ガイナーレ鳥取の(株)S C鳥取代表取締役塚野真樹氏・同セネラルマネージャーの竹鼻快氏をパネリストに迎え、本池会員をコーディネーターにしてパネルディスカッションを行った。第1部の講演では、スサノオマジックの目的、立ち上がってからb jリーグ加盟までの経緯、現在の状況、今後の目指すべき姿まで話があった。

「プロスポーツがコミュニケーションの



一つに入ること、地域に夢を与え、明るくする事ができる。山陰を元気にしたい。」「b jリーグ加盟の為に、1万本シュートプロジェクト等を立ち上げ、認知度を上げた。バスケのプロスポーツチームが立ち上がる、という機運を盛り上げていった。」「地元選手の他、現役日本代表選手の獲得もし、まずはプレーオフ進出を目指している。」「今後は、現在1万名のプースター会員を、3万名まで増やし、試合開催日を祭りとする事で観光資源とし、地域経済に貢献したい。」と話した。

第2部のパネルディスカッションは、プロスポーツチームの地域に与える経済効果や、今後の事業についての質問があり、「新たなコミュニケーションが生まれ、人間交流が起きる事でビジネスに発展する。」「外貨獲得のみではなく、地域に巡っているお金を活用する方法もある。」といった話があった。白バラ牛乳の牛乳パックが1本売れると1円をガイナーレに寄付しており、ガイナーレに寄付

する事で売れ行きが好調になり、110%伸びたという事例も出た。二つのプロスポーツチームの地域貢献に対する考え方、地元企業との取引強化についての話などを伺う事ができ、プロスポーツチームとの連携による地域活性化について考えさせられた。両社とも、「新規事業の提案をどんどんして下さい。」と答えられ、これからのビジネスの予感がする例会であった。



冒頭北口会長が、「1月例会お疲れ様でした。輝委員会を中心とし、みんな一丸となって後半戦良いスタートが切れた。ありがとうございます。」と挨拶。

また、本日の例会に絡め、プロレス現役40年、58歳の藤波辰爾選手の『プロレスを通じて、感動と勇気を与えたい』という言葉を紹介された。

あわせて、佐々木新入会員へのバッジ授与が行われた。(記事:佐藤)



2月例会を終えて…

スポーツ振興委員会 委員長 向井 智之

皆様2月例会いかがでしたでしょうか?第1部では山陰スポーツネットワークの宮下様にスサノオマジック及びb jリーグについての講演、第2部では講演して頂いた宮下様に加え、赤池社長とS C鳥取の塚野社長と竹鼻様にお越し頂いてプロスポーツを活用したビジネスという内容でディスカッションして頂きました。今回の例会をきっかけに、今後益々ガイナーレとスサノオマジックに興味を持って頂き、ただ応援するだけではなく、何か商売に結び付くような関わり方が出来るように発展していけばと思います。

今回の例会の準備をするにあたり、色々な方にご協力、アドバイスを頂きました。準備が出来た後でも、更に意見が出てくるなど、より良い例会を作ろうとする事で団結出来た有意義な時間でした。ありがとうございます。

トライアスロン実行委員各部長決定！！

トライアスロン実行委員長としての抱負

トライアスロン実行委員長 増井 幸一

今年も当会では、AS部(エイドステーション)、ボランティア部、マラソン部の各部門で運営に参画していきます。毎年この時期になると、ボランティア部、マラソン部の実務の活動が始まっているのはご存知かと思ます。部長陣においては、既に競技委員会も開催され、責任のある内容をどうやって遂行していくのか、思案されている事だと思ます。レース中のコース上での活動がメインの部門も

あれば、裏方としてボランティアさんへの指示・誘導や、レース前後のコース準備・片付けなどをする部門もあり、活動する日・時間帯も異なる各部とも、真剣に取り組んでいきます。西部青年中央会トライアスロン実行委員会は、各部の責任や内容を皆が認識・理解し、協力し合い、そして大変な中にも楽しさがある事を、次のメンバーに伝えていけるような活動をしてまいります。宜しくお願いします。



ボランティア部長 手島 武司

今回ボラ部長を拝命しました牛乳屋の手島です。

私のテーマは「未来に楽しくつなげようボラ部の輪」です。楽しく仲良く和気あいあいと若い世代の方も巻き込んでボラ部を楽しんでみませんか？

皆でやり遂げた時に必ず感動というご褒美が待ってます。よろしくお祈りします。



マラソン部長 牧田 継夫

マラソン部として8回目の全日本トライアスロン皆生大会を迎えるにあたり、部長という大役を仰せつかりました牧田です。新入会員の時から過ごした先輩方との楽しい思い出と伝統を残しつつ、これからのことも考えながら、皆と楽しんでがんばりたいと思ます。ご協力の程、よろしくお祈りいたします。



AS部長 岩田 剛

暑い夏が大好きです。名前を呼ぶと感極まって何度も何度も頭を下げて走っていく選手に感動します。声の枯れるまで応援し続けるボランティアに感動します。今年もきらきらと輝く思い出がまた増えそうです。そんな夏がまたやってきます。盛り上がっていきましょう！！



輝業紹介

「感動店舗・豊かな人生」



（株）すし弁慶 中川孝彦

（株）すし弁慶は、創業33年目を迎えました。「感動店舗・豊かな人生」を経営理念とし、お客様に最高のお寿司を提供する事と全従業員に豊かな人生を送ってもらう事を目指しています。近年の大手回転すしチェーンの進出により厳しい状況ではありますが、大手チェーンには絶対に負けないという気持ちで営業させて頂いて



おります。

「すし弁慶」をバージョンアップしたのが回転すし北海道です。特徴としては、毎日水揚げされる新鮮な旬の魚を日替わりで提供している事です。地元境港の魚は勿論の事、常に新しい食材を求め、日本全国からより良い食材を探し、おいしくまた低価格で食べて頂こうと努力しております。

また、高効率な運営を追及しながらも、できたて・本物志向にこだわり、お客様満足度を最優先に考えています。地元の皆様に愛されるすし弁慶・北海道でありたいと思ますので皆様どうぞ宜しくお願いします。



おすすめ ビジネス文庫紹介

紹介者：生田 育永 会員

「はじめて課長になったら読む本」

大西 農夫明 著



先日、課長から「まっ、とりあえずお前も読んで」と渡されたのが、今回ご紹介する「はじめて課長になったら読む本」です。内容は、まさにタイトル通りといえばそれまでなのですが、個人としての仕事を卒業し、組織(チーム)として目標を達成するための仕事へ変わる為、「どのように目標を決定し、部下を育て、チームのPDCA管理サイクルを回していくのか」が、分かりやすい表現と具体的な手段で説明されています。なるほど、これなら僕でも部下に対して適切な指導管理ができるかも・・・って 課長！「僕、一人もいないじゃん、部下。」

知って得するビジネス用語

クーリングオフ

司法書士 廣谷栄一事務所 廣谷 栄一 会員

クーリングオフとは、訪問販売等により消費者が契約した際に、契約後の一定期間内であれば、無条件で消費者側から一方的な契約の解除をすることを認めた消費者を保護するための制度のことです。

クーリングオフができる期間は、法定書面交付の当日から計算して8日目が一番多く、その他は14日目(利殖関連)・20日目(連鎖販売取引)とありますが、最短期間である8日間を覚えておきましょう。

クーリングオフの通知は書面、特に内容証明郵便を利用しましょう。

クーリングオフの効果は①契約が解除される②商品返送費用は業者負担③業者に損害賠償や違約金の支払不要④既に提供済みの役務の対価の支払不要⑤役務提供に関する原状回復は事業者負担になります。

輝寶室

有美さご 代表取締役
佐久間 信OB (第22期ご卒会)



今月は、有限会社美さご 代表取締役 佐久間 信OB(第22期ご卒会)に、ご自身の仕事観を中心にお話を伺いました。

まず最初に「料理店事業とテナント事業を中心に行っているが、仕事が順調であるときほど危機感を持っている。これは、物事にはリバウンドというものがあり、そのリスクに対応するための危機感として、経営に携わったときから一貫して持っている思いである。」と話され、続いて「日本の景気が低迷する中、飲食事業はインターネットの普及により全国から来訪されるお客様が増えてきているが、リピーターとしてお越しいただけるよう、同じ料理は提供しない！この山陰でしか味わえないもの！等、様々な取組みをしている。」と話

していただきました。

会話の節々にも「お客様の笑顔を見るのが大好きだから事業を続けることができる。」という、ご自身の想いを交え、熱く語っていただきました。

また、今では考えられませんが、佐久間OBが青年中央会に入会された約35年前の委員会では、順番に会員の自宅で奥様のお世話になり委員会を開催した頃があった(日野町の方までも行かれたそうです)との事で、今でも懐かしく思い出される事があるそうです。

そして「活動を通じて異業種の方々と知り合い、中央会を卒業してからも、より親密なお付き合いをさせて頂いているが、この人脈は自分の財産である。」ともおっしゃっておられました。

最後に現役会員に対して「時代は厳しく大変だが、(仕事に)一生懸命取り組んでいると仕事を楽しくなり、違った新しいアイデアが出てくる。是非、仕事が良い意味での「ゲーム&遊び」だと思って頑張ってもらいたい。」とメッセージを頂きました。

終始笑顔で語られる佐久間OB、お忙しい中ありがとうございました。(記事:盛政)

中央会をふりかえって… 永田 健司 会員



『長期に研修に行ってきたさい!』と、(株)ランドサイエンス遠藤会長に紹介され、直前会長と総務委員長と名乗る恐ろしい方が現れた。『我々青年中央会とは、…』よくわからないままに食品会館で自己紹介、入会の連絡、例会でバッジ授与。あれから5年かと思うとあっという間。青年中央会は、よく学び、よく遊べ!の実践現場。トライアスロンで必死にボランティアをし、委員会の運営を語り、例会を成功させようと皆で一生懸命になり、夜中まで真剣に議論して、朝まで酒を飲んで、こんなに熱くなるのはなんだ?自分は今までこんなに仕事に熱くなったことあったかな?遊びに夢中になったかな?心の中の冷めていたものが熱くなった。中央会の入会によって本当に自己成長ができたと思う。皆様5年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

『長期に研修に行ってきたさい!』と、(株)ランドサイエンス遠藤会長に紹介され、直前会長と総務委員長と名乗る恐ろしい方が現れた。『我々青年中央会とは、…』よくわからないままに食品会館で自己紹介、入会の連絡、例会でバッジ授与。あれから5年かと思うとあっという間。青年中央会は、よく学び、よく遊べ!の実践現場。トライアスロンで必死にボランティアをし、委員会の運営を語り、例会を成功させようと皆で一生懸命になり、夜中まで真剣に議論して、朝まで酒を飲んで、こんなに熱くなるのはなんだ?自分は今までこんなに仕事に熱くなったことあったかな?遊びに夢中になったかな?心の中の冷めていたものが熱くなった。中央会の入会によって本当に自己成長ができたと思う。皆様5年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

中央会をふりかえって… 松江 智雄 会員



10年前に職場にいられた先輩に誘われ、その時の社長(父親)に「付き合いは大事にしてください」の一言でしぶしぶ入った中央会。最初は、とりあえず委員会・例会に顔を出すだけでした。トライアスロンではボラ部の

所属になりましたが、部会すら参加しませんでした。それでも同期入会の年下の会員に諭され、しぶしぶ参加したボラ部。気がつけばどっぷりと入り込んでいました。それがきっかけで、先輩方との付き合いもはじまり、さらに野球部・バスケット部にも入り、先輩・仲間からたくさん学ばせていただきました。なかでも「役がきたら迷わず引き受けなさい、必ず自分にプラスになるから。」の一言は、後々の中央会人生においてかなり大きな言葉となりました。

そして委員長をさせていただいた一年間は本当に自分のダメな部分を気づかされました。

でも、この気づきが大事なことだと思います。この10年間に関わったすべての人たちにお礼を言いたいです。「ありがとう」

県経営研修会に参加して

平成23年1月29日土曜日、ホテルニューオータニ鳥取にて経営研修会が行われた。「鳥取発!世界へ!!」というテーマでアリババマーケティング株式会社 代表取締役 山本康二氏をお迎えしての講演会だった。



「日本では無価値なものも、海外では非常にニーズのあるものになる。古い家電製品で日本では引き取りにお金がかかるようなものも、発展途上国では丁寧に直し、価値あるものとして販売されているといった事例をあげ、販路拡大に繋げて欲しい。」との事であった。

懇親会では、冒頭西根県会長が「思い立ったらすぐ動く。ぴっときたらぱっとやる。という事で成功して欲しい。」と述べられた。その後は各地区の特色ある挨拶等で2次会まで盛り上がった。尚、現役会員に対する2次会参加率の割合は、西部がトップであり、やはり西部はすこ



いなあ、と思った。尚、帰りは予報通りの猛吹雪で5m先も見えない状態で、講演だけで帰れば良かったと、ちょっと後悔した。(記事:佐藤)

拝啓、会員様～北口会長のひとりごと～



WBCで日本が連覇を果たした事は誰も記憶にあると思います。決勝戦の延長10回表 イチローのバットに神が降りてきた瞬間、最大の見せ場で見事なセンターへの決勝タイムリー。

それまで存在感の薄かったイチローが、一気に英雄となった瞬間でもあった。

勝負事には、確かにこのような見せ場がいくつかあるが、最後の最後まで勝負を諦めない気持ちを持ち続け、そこで大きな期待に見事に応える事が出来るのが真のMVPと言えるだろう。

3月例会に向けて



3月例会は、おすすめビジネス文庫でも紹介した「愛国者の流儀」の著者である、ビル・トッテン氏を講師にお招きし開催します。低成長の日本経済、縮小していくGDPを考え、早々と「晴耕雨読」を実践され、社員にも奨励しているビル・トッテン氏。

今期、北口会長から提示された「より豊かで住みやすい地域・故郷とは」をテーマに講演をして頂きます。今回は会員の紹介者の方にも参加頂ける例会ですし、貴重なお話が聞けると確信しています。

是非、多数の方をお誘い頂きご参加をお待ちしております。
(映画モモの)灰色の男たちによって時間を奪われてしまいがちな昨今、この講演を聞くことによって時間を取り戻しませんか。
(政治行政委員会 委員長 久保田 賢)

「ワカせてほしい!!」

「アメリカ市民の皆さん、アメリカの国があなたに何をしてくれるかではなく、あなた自身アメリカに何が出来るかを考えてください」

これは第35代アメリカ大統領に就任したジョン・F・ケネディの就任演説の一部です。アメリカ人がみな“アクティブ・シチズン”である必要を語っています。シンプルながらも力強いメッセージで記憶に残る名演説の一文だと思います。(出来れば全文を読んで見て下さい)

ここで提案です。アメリカを西部青年中央会や会社に置き換えて見て下さい。何か伝わってくるものがありますか。興味のある例会が少ないなら、自分から興味の出る企画を提案すれば良いのです。仕事が忙しくて例会に出席出来ないなら、自分が何とか出席できる方法をあらゆる方向から考えてみる事です。何事も他人任せ、周りのせいにはしないで、自分自身で切り開いて“アクティブ・メンバー”になることが一番大切なのではないかと思えます。(副会長:渡辺 一徳)

新入会員



佐々木 尚 A型
株葬仙 葬祭業 経理マネージャー
〒683-0033 米子市長砂町1075
TEL 34-4444 FAX 34-7512
(KT) 090-3158-9391
(EM) sasaki@sousen.ne.jp
S46.10.2生

【コメント】

株式会社葬仙で経理の仕事をしております、佐々木と申します。桶村先輩から中央会のことを教えて頂き、この度2月より入会のお許しを頂きました。中央会の活動を通じて、地域の皆様への貢献や中央会の発展のために携わって参りたいと考えております。未熟者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

2月度委員会報告

健康委員会

平成23年2月10日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/14名
議題/・役員会報告
・マラソンマップ作成等について

スポーツ振興委員会

平成23年2月9日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/14名
議題/・役員会報告
・2月担当例会打ち合わせ

政治行政委員会

平成23年2月8日(火)於:米子コンベンションセンター 出席者/13名
議題/・役員会報告
・3月例会について ・今後の委員会活動について

ビジネスメディア委員会

平成23年2月10日(木)於:ホテルサンルート米子 出席者/14名
議題/・役員会報告
・HPの企画・改善等について ・展示会出展について

輝委員会

平成23年2月10日(木)於:米子食品会館 出席者/15名
議題/・役員会報告
・中央会に関して先輩会員(後藤副会長)より新入会員向けの説話

- ・新年例会反省
- ・4月レクリエーション例会について

総務委員会

平成23年2月8日(火)於:味わいジャパン米子支店 出席者/17名
議題/・役員会報告
・松江YEGとの交流会について
・ハンサム発行及び内規検証の件

3月役員会報告

2月役員会が平成23年3月1日(火)、米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・2月例会報告の件
 - ・3月例会開催の件
 - ・4月レクリエーション例会開催の件
 - ・次年度会長承認の件
 - ・松江商工会議所青年部との交流事業の件
 - ・その他
- ※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

3月例会のご案内

と き:平成23年3月15日(火) 18:45~21:00
と ころ:米子コンベンションセンター小ホール
内 容:講演テーマ「温故知新 より豊かで住みやすい地域・故郷とは」
講 師:(株)アシスト 代表取締役 ビル・トッテン氏
担 当:政治行政委員会

編集後記

3月の交流会に使用する為、過去の主だった活動が垣間見える写真を探したところ、委員会報告書に掲載したものでさえ喪失しつつある現状に直面した。活動記録の蓄積は会の財産。収蔵しておきたいと思う。(長谷川 T)